

授業モデル2 (小学校6年生 NEW HORIZON Elementary Unit 8)

- 1 単元名 NEW HORIZON English Elementary 6 Unit 8 My Future, My Dream (全8時間)  
 2 目標 (4/8時間)  
 (1) コミュニケーション活動に意欲的に取り組むことができる。  
 (2) 中学校生活や将来の夢について、伝え合ったり、話したりすることができる。  
 (3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深めることができる。

児童が既習の知識を生かして、学習方法を選択しながら、主体的に単元の目標に向かっていく授業が大切です。



授業充実の3ポイント	主な学習活動	分	〇・・・教師の具体的な働きかけ
<p>〔目標の明確化〕                      〇 興味関心が生まれる導入                      〇 課題意識の焦点化と学習課題の設定                      〇 解決の予想と見通し</p>	<p>1 英語であいさつをする。                      2 チャンツをする。                      3 本時のめあてを確認する。                      中学校で入りたい部活動や将来なりたい職業について伝え合おう。</p> <p style="text-align: right;"><b>視点1</b></p>	10	<p>〇 学校行事や部活動、将来の夢に関する語彙・表現に慣れ親しませるためにチャンツを行う。                      〇 中学校生活を充実させ、将来の職業につなげるために、クラスメイトやこれまでお世話になった方々(担任、保護者等)に抱負を伝えるという単元の目標を確認する。</p>
<p>〔山場の工夫〕                      〇 自力解決による最初の考え(仮説)の構築                      〇 考えの共有(学び合い)                      〇 自力解決による最終的な考えの構築</p>	<p>4 Let's Listen② (NHE6 p.75) のスピーチを聞いて、中学校で入りたい部活動と将来なりたい職業を伝える表現を知る。                      5 Picture Dictionary (p.30,31) で職業と部活動の表現を練習する。                      【各自の課題に応じて、練習する場】                      1回目：全体で確認する。                      2回目：タブレットを用いて各自で確認する。                      6 Let's Try③ (p.75) で、中学校で入りたい部活動と将来なりたい職業について友達にインタビューする。                      俳優って英語で何て言うのかな？                      私はタブレットで調べよう。                      Picture Dictionary も使えそうだ。</p> <p style="text-align: right;"><b>視点2</b></p> <p>〈Let's Try③の例〉                      A: What club do you want to join?                      B: I want to join ~ team / club.                      A: Oh, really? / I see. などのリアクション                      Do you like ~?                      B: Yes, I do.                      A: What do you want to be?                      B: I want to be a ~.                      A: That's nice! / Sounds good.                      How about you?                      以下 A と B が役割を替えて会話を行う。</p>	5 一斉 5 一斉 15 ペア	<p>〇 友達とやりとりをしたり、抱負を伝えたりするために必要な表現に気付かせる。                      〇 児童がいつでも確認できるようにするために、会話で使う絵カードを黒板に貼っておく。                      〇 これまで学習した表現を基に、中学校で入りたい部活動や将来なりたい職業について、自分の考えが伝えられるようにする。                      〇 伝えたいことを明確にするために、ワークシートやタブレット端末を活用して、自分のなりたい職業やそれに関連する表現を選択・決定させる。                      ☆point ワークシートの「やり取りを広げるためのキーワード」を記入させる。                      〇 会話の中で意識したいポイント(目線、リアクション “Me, too. / I see. / Oh, really?” 等、表情、声量、ジェスチャー)を確認する。                      〇 交流を通して、友達の良いところや多様な表現に気付かせる。                      〇 自分たちのインタビューの様子を振り返ることができるようにするために、タブレット端末でやり取りを録画させる。</p>
<p>〔確かめ・見届け〕                      〇 学習のまとめ                      〇 習熟                      〇 振り返り</p>	<p>7 学級全体で、録画したインタビューの様子や Enjoy Communication (p.76) の動画を視聴し、本時の活動を振り返る。                      Do you like~? を使うと、好きなことを聞けるね。                      “Can” を使うとできることが伝えられるよ。                      本番の発表でも、やり取りを広げるためのキーワードが使えそう。                      視点3</p> <p>8 ワークシートを用いて、単元の目標に向けてできるようになったことや頑張りたいことを振り返る。</p>	5 一斉 5 個	<p>〇 録画したインタビューの様子を視聴し、やり取りができたかどうか確かめさせる。                      〇 児童が本時の学習の成果を実感できるようにするために、視点を明確にした振り返りカードを活用する。                      〇 教師が児童の気付きや変容について見届け、今後の指導に生かす。</p>

【コアティーチャーネットワークプロジェクト外国語活動・外国語科部員】

小牧 えりか (朝日小)    川上 志穂美 (朝日中)    加藤 照美 (龍郷小)    福山 章 (宇検村教育委員会)  
 上ノ園 将太 (金久中)    宮上 将也 (阿室中)    長藪 誠 (与論中)    阿久根 崇 (大島教育事務所)

# 令和5年度

## 学力定着のためのリーフレット 外国語活動・外国語科編 ＝コアティーチャーネットワークプロジェクトまとめ＝

大島教育事務所

### 大島地区の外国語活動・外国語科の課題



#### 「話すこと」・「書くこと」

「Yes/No で答える質問には対応できるけど、“Why?”や“Tell me more.”とさらに自分の意見を求められるとうまく話したり書いたりできない。」という場面を見かけませんか。令和4年度鹿児島学習定着度調査(中学2年生・英語)においても、「話すこと」と「書くこと」の地区通過率が県平均よりも大きく下回っています。その要因として、**三人称単数現在の S や疑問詞などといった、中学1年生までで学習する言語材料の定着に課題や不安があるために、誤答が増えていると考えられます。**

【実際の問題から・・・このようなつまずき、皆さんの学校でも見られませんか？】

5(2) それぞれの対話が自然な流れになるように、空欄に入る最も適切な英文を下のア～エの中からそれぞれ1つずつ選び、その記号を書きなさい。

A: I visited Nagasaki on my school trip.

B:

A: We learned about peace. It was very good.

ア Where did you go?

イ What did you do there?

ウ How did you visit Nagasaki?

エ When did you go there?

	大島地区平均	県平均
通過率	63.6%	69.7%
無答率	0.1%	0.2%

(想定されること)

- ・ 質問の答えの部分に注目できていない…?
- ・ 疑問詞の意味や用法が定着していない…?
- ・ 疑問詞を用いた対話活動に慣れていない…?

11 次の表の(1)～(3)は、ある14歳の女の子に関する現在の情報を示しています。これらの情報を用いて、この女の子について説明する英文をそれぞれ書きなさい。

(1) 出身: Australia

(例) She is from Australia.

(2) 住んでいる都市: Osaka

(例) She lives in Osaka.

(3) 将来の夢: 教師(teacher)になること

(例) She wants to be a teacher.

		大島地区平均	県平均
通過率	(1)	64.2%	66.8%
	(2)	52.0%	53.8%
	(3)	39.2%	42.9%

(想定されること)

- ・ be 動詞と三人称単数で混乱した…?
- ・ live in や want to be の表現に慣れていない…?

### 目指す授業



この単元を通して、目指す子供の姿

【小学校】 単元の終末には、児童が既習の知識を生かして表現方法を選択しながら、生き生きと自己表現する楽しさを味わう。

【中学校】 単元の展開において生徒が自ら英語の仕組に気付いて自分の言葉で整理し、習得したことを運用する楽しさを味わう。

### 授業のポイント



【視点1】 相手意識や目的意識を明確にした課題設定の工夫

【視点2】 既習の知識を生かして、試行錯誤しながら表現しようとする場面の設定

【視点3】 できるようになったことを実感させる振り返りの充実

授業モデル 1 (中学校 1 年生 NEW HORIZON English Course 1 Unit 6)

1 単元の概要

- (1) 単元名 NEW HORIZON English Course 1 Unit 6 A Speech about My Brother (全8時間)
- (2) Large Task 『外国からの観光客にご当地キャラクターを英語で紹介しよう。』
- (3) 主な言語材料 三人称単数現在のSを使った平叙文, 疑問文, 否定文

2 単元の見通し (指導計画)

第1時・第2時	第3時・第4時	第5時・第6時	第7時・第8時
三人称単数現在の平叙文	三人称単数現在の否定文	三人称単数現在の疑問文	単元のまとめ・表現活動
三単現のSは, どんな時につくのだろうか…?	一般動詞を使って否定文や疑問文を作ったけど, 三単現のSがある時にはどうするのだろうか…?		学びを生かし, ご当地キャラの紹介文を書いて Show and Tell をしよう!
(知識・技能と思考・判断・表現のバランス)		…思考力・判断力・表現力の高まり	
知識・技能	思考・判断・表現		

3 本時の授業の概要 ( 1 / 8 )

- (1) Today's Goal  
第三者について英語で説明するには, どんなことに気をつける必要があるだろうか。
- (2) 本時の指導のポイント  
ア 一般動詞の語尾変化に生徒自ら気付かせることで, 学習者の課題意識や探究意欲を高める。  
イ 気づきから得た学びを学習者自ら整理させるように教師が支援していくことで, 学習者主体の授業展開を図る。  
ウ 得られた学びを生かして練習問題に取り組ませることで, できるようになった実感を味わわせる。

4 本時の実際

授業充実の3ポイント	主な学習活動	分	〇…教師の具体的な働きかけ
[目標の明確化] ○ 興味・関心が生まれる導入 ○ 課題意識の焦点化と学習課題の設定 ○ 解決の予想と見通し	1 Greetings 英語であいさつをする。 2 Warm-up インタビュー活動を行う。 【考えられる話題の例】 ・ When do you come to school? ・ How many brothers do you have?	1 3	○ 英語でコミュニケーションしやすい雰囲気をつくる。 ○ 既習事項(疑問詞の用法とその答え方)の定着を図るために, 英語での対話を繰り返し取り組ませる。 ・ What time do you get up? ・ What do you have for breakfast?
	3 Oral Interaction 初見で本文を音読させ, これまでの英文との変化に気付く。 I(わたし)で始まる文がないなあ…。動詞にはsがついていて, これまでと違うよ。 4 Today's Goal 第三者について英語で説明するには, どんなことに気をつける必要があるだろうか。	3 1	○ 学習課題に気付かせるために, あえて初見で本文の音読に挑戦させます(正確さは問わず, 挑戦したことを称賛します)。 ○ 本時の学習への意欲を高め, 見通しをもたせるために, 生徒の言葉から学習課題のキーワードを引き出す。

<p>〔山場の工夫〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自力解決による最初の考えの構築</li> </ul> <p>○ 考えの共有(学び合い)</p>	<p>5 Guessing 三人称単数の S がどんな時についているのか、例文を比較する <b>視点2</b></p> <p>I <b>live</b> in Cebu. He <b>lives</b> in Cebu. He and his friends <b>go</b> diving</p> <p>I や You のときにはついてないな。</p> <p>Heなのに、なぜsがついていないんだろう。</p> <p>6 三人称単数について、教師の説明を聞く。</p> <p>7 Practice (活用練習) 4人前後のグループで、互いに表現しあう。</p>	<p>○ 主語に応じて動詞がどう変化するか注目するために、1~3人称、複数など適切な例を提示して比較させます。</p> <p>10</p> <p>○ 補足にとどめ、生徒の気付きを賞賛する。</p> <p>○ 定着を図るために、自分や友達のこと(住んでいる場所、好きなこと等)を伝え合う真正性のある活動を設定</p>
<p>○ 自力解決による最終的な考えの構築</p>	<p>【グループで発表する説明の例】</p> <p>① I live in ○○.                      ④ He (She) lives in ○○. ② You live in ○○.                    ⑤ They live in ○○. ※メンバーで共通の場合 ③ □□ lives in ○○.</p> <p>8 Reading Comprehension (1) 音読練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Chorus reading      • Individual reading</li> <li>• Buzz reading        • Shadowing</li> <li>• Pair reading などの手法を活用</li> </ul> <p>(2) 本文の内容を理解する。</p> <p>(3) 全体で確認する。</p> <p>9 Activity 友達のことを英語で紹介する文を書く。</p> <p>【グループ内の友達を紹介する文の例】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• □□ lives in ○○.</li> <li>• He(She) plays ○○.</li> <li>• He(She) likes ○○.</li> </ul> <p>※ グループ内で共通事項があれば、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• They (□□ and △△) live in ○○.</li> </ul>	<p>3</p> <p>○ 学習者自ら学ばせる場面を確保するために、タブレット端末を活用させる。また定着を図るために、全体、個、ペアなどの学習形態を工夫して繰り返し練習させる。</p> <p>○ 概要把握時の根拠を明らかにさせるために、注目した部分にマークさせる。</p> <p>○ 内容理解を深めるために、キーワードの視覚化や、根拠の問い返しをする。</p> <p>○ 自分の考えを確かめるために、互いに完成した英文を見せ合わせながら、意見交換させる。</p> <p>○ 単語の綴りや語順、動詞に-s か-esがついているかなど生徒の確認を補助する。</p> <p>5</p> <p>2</p> <p>8</p>
<p>〔確かめ・見届け〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習のまとめ</li> <li>○ 習熟</li> <li>○ 振り返り</li> </ul>	<p>10 Summary 本時で学習したことを自分の言葉でまとめる。</p> <p>① I, You 以外で②ひとり、またはひとつのものが主語になる文では、一般動詞の語尾に、S(または es)をつける。</p> <p>11 Comprehension Check 鹿児島学習定着度調査で出題された類似問題に取り組みさせる。 <b>視点3</b></p> <p>☆ R5 鹿児島学習定着度調査(2年英語) <b>11</b>の問題を活用しましょう。</p> <p>12 Greetings</p>	<p>2</p> <p>○ ゴールの確認と本時で行った活動の振り返りを、自分の言葉でまとめさせる。</p> <p>○ 「2年生の鹿児島学習定着度調査で出された問題でも自分で解ける」という手応えを得させるために、本時で学んだ知識を駆使して挑戦させます。</p> <p>○ 次時につながる称賛を与える。</p>